

JAしみず 平成26年度上半期 経営状況のご案内

1. JAの地域貢献

当JAは、組合員の皆様を中心として地域の方々とともに助け合い発展していく、地域に根差した協同組合です。「農協があって良かった」といわれる農協の確立を経営理念に、農業の発展、豊かな地域社会の実現に貢献することを目的とし、地域から愛されるJAを目指し金融・共済・経済・営農部門等総合的な事業活動を行い、事業や暮らしのお手伝いをしています。

平成26年度は、本県JAグループが定める大綱を基に策定された新しい3か年計画の初年度にあたり、前計画で定めた「10年後の将来像」に更に近づけるべく取り組みを行っています。その一環として、各地域では、組合員の協同活動への活発的な参画を促し、また地域住民の「農業のこと、地域のこと、JAのこと」への関心を高め、もってJAの仲間づくりの輪を広げていく「1地域1協同活動」を通じ、地域イベントの開催、環境保全やボランティア活動を実施しています。さらにJA青壮年部やJA女性部とともに、地域の子供たちを対象に野菜栽培やお茶の淹れ方教室等の食農教育を行っています。

また、区域内各所での朝市の開催、グリーンセンターや農産物直売所「清水野菜村」において新鮮で安全・安心な地元農産物を提供しています。今年度4月には「地域農業経営の再構築」の一環としてアンテナショップきらりを開設し、清水産農産品の最高級品をはじめ、地元清水の海産品や名産品を取りそろえ、本物の『清水のおいしさ!』を提供しています。

その他興津川クリーン作戦への参加、静岡市へのカーブミラーの寄贈、本店駐車場を静岡県立静岡中央特別支援学校・清水特別支援学校の生徒送迎用にご利用いただいています。

また、毎年恒例となっている「アグリ・ウォーキング」や「アグリフェスタしみず」の開催が企画されています。

2. 金融再生法開示債権(単体)

当JAの金融再生法の開示に基づく債権額は次のとおりです。

今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：千円)

債権区分	平成26年9月末				平成26年3月末	増減
	債権額	担保・保証	引当金	保全額合計	債権額	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,158,730	999,463	156,616	1,156,080	1,245,326	▲ 86,596
危険債権	474,965	474,605	360	474,965	531,809	▲ 56,843
要管理債権	305,471	246,437	-	246,437	249,845	55,626
合計	1,939,167	1,720,507	156,976	1,877,483	2,026,981	▲ 87,813

注：1. 平成26年9月末の計数は、平成26年8月末を基準日として行った自己査定結果(債務者区分及び債権額)を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

信用事業に係る総与信(貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替(以下、同様))のうち、自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。

②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

信用事業に係る総与信のうち、自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。

③「要管理債権」とは、3月以上延滞債権(元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3月以上延滞している貸出債権)及び貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)です。

3. 単体自己資本比率(国内基準適用)

当JAの自己資本比率は平成26年9月末16.26%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

平成26年9月末(見込み)	平成26年3月末
16.26%程度	16.65%

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額)} \times 100}{\text{リスク・アセット(当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額)} + \text{オペレーショナル・リスク相当額}}$$

2. 平成26年9月末の自己資本比率算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成26年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成25年9月末	平成26年3月末	平成26年9月末
貯金	261,415,212	260,502,722	261,976,045
貸出金	84,933,533	82,666,244	82,994,167
預金	161,908,879	166,648,265	166,619,814
有価証券	14,672,286	12,301,694	12,707,733

注：平成25年9月末及び平成26年9月末の残高は帳簿価額を、平成26年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5. 有価証券の時価情報

(単位：千円)

	平成26年9月末			平成26年3月末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
満期保有目的の債券	1,455,528	1,489,541	34,013	1,747,280	1,782,501	35,221

(単位：千円)

	平成26年9月末			平成26年3月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	11,337,033	12,217,948	880,914	10,301,884	11,118,268	816,384
株式	80,917	578,488	497,571	110,370	590,653	480,283
債券	11,256,116	11,639,459	383,343	10,191,513	10,527,614	336,101

注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。
3. 平成26年9月末の含み損益・評価差額は、平成26年9月末時点の帳簿価額・取得原価との差額を表示しております。
4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

注：本資料中に表示している金額は単位未満を切り捨てています。